

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		一葉記念館管理運営					所管	文化産業観光部 文化振興課
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	63	計画事業名	文化施設の活用			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出						
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり						
	[施策] ①文化に触れる機会の充実		[事業開始] 昭和36年度 [終了予定] - 年度					
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立一葉記念館条例、同施行規則				
	事業対象	区民及び広く一般						
	事業目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に「たけくらべ」を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持・管理 樋口一葉に関する資料の展示公開 記念館の運営及び利用に関すること 						
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	(公財)台東区芸術文化財団を指定管理者とし、管理運営を委託している。					
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	開館日数	(日)	293	295	297	286	
		成果指標	入館者数	(人)	17,000	15,249	16,686	20,095
	決算額 (単位:千円)				35,338	17,414	16,528	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			1,700	1,925	1,338	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			16,656	17,415	16,528	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			18,683	0	0	
		総経費			37,039	19,340	17,866	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			2,926	3,280	3,610	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
一般財源(区負担額)			34,113	16,060	14,256			
前回評価から改善した事項	一葉記念館リニューアル10周年を記念し、10周年記念の企画展を開催したほか、例年3日間である「一葉祭」を4日間開催することで、より多くの方々に一葉記念館を知って頂き、入館者が増加した。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉の名を冠する唯一の施設である。一葉の文学業績を後世に遺すため、地元住民の熱意に応じて区が建設した経緯があり、引き続き、区立の文化施設として地域に根ざした運営を行い、区民をはじめ広く一般に公開する必要がある。					
	効率性	3	施設の維持管理等に必要な経費を最小限に留め、指定管理による効率的な運営を行っている。					
	手段の適切性	3	特別講座の中で、上野学園連携企画事業としてギャラリーコンサートを行うなど、学術機関とも連携し、指定管理者の専門性も活かしながら事業の充実を図っている。					
	目的達成度	4	10周年を記念し事業の充実を図ったほか、アニメとのコラボレーション企画を実施したことにより、中高生など若い世代の新たな来館者層も呼び込み、来館者数の増加につながった。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)							評価結果	
効率的な運営を図りつつ、これまでの来館者サービスを継続し、さらに事業の充実や新たな来館者層の開拓を図った結果、入館者数は大きく増加した。今後も台東区にゆかりの深い作家である樋口一葉とその時代の文化に触れられる施設として維持・運営していく。								
今後の方向性							維持	
拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了								